

労働力調査の概要

参考1

労働力調査とは

- 国民の就業及び不就業の実態を明らかにするための基礎資料を提供するもの
- 労働力の供給側である世帯を調査

調査の概要

- 調査の規模 全国の約2,900調査区、約4万世帯（15歳以上の世帯員は約10万人）
 - ※ 対象世帯は2か月間調査され、翌年の同月（2か月間）も調査
- 調査事項 基礎調査票及び特定調査票の2種類を使用
 - ・ 基礎調査票：就業・不就業に関する基本的事項（就業状態など）
 - ・ 特定調査票：就業・不就業に関する詳細な事項（前職の状況、失業期間など）
- 結果の公表
 - 基本集計 — 基礎調査票に関する事項（翌月末の公表）
 - ・ 全国結果：毎月、四半期平均、年平均、年度平均
 - ・ 地域別結果：四半期平均、年平均
 - ・ 都道府県別推計結果(モデル推計値)：四半期平均、年平均
 - 詳細集計 — 特定調査票に関する事項及び未活用労働指標（四半期の最終月の翌々月の公表）
 - ・ 全国結果：四半期平均、年平均

結果の利用

- 国の経済動向、景気動向の指標としての利用
- 各種雇用政策の企画、立案のための基礎資料
- 経済財政白書、労働経済白書など各種白書作成のための基礎資料
- 大学、研究機関等における雇用・失業問題研究のための基礎資料 など